

第10回 議員全員協議会

8月10日

震災復興計画への質疑

概要

東日本大震災の対応等（7月6日以降）について、市長から説明がありました。7月29日から災害義援金の2次配分の振り込みを開始。災害弔慰金等の振り込

み総額は17億8860万円との報告がありました。

震災復興会議から提言のあった岩沼市震災復興計画「グランドデザイン」愛と希望の復興」について説明があり、次のような質疑が出ました。

先駆けのメリットは

問 他の自治体に先駆けてグランドデザインを出し、計画を立てていくメリットをどう考えるか。

答 岩沼市がいち早く方向付けをしたので、国、県の協力をお願いしたいという方が、プラスではないかと思えます。

財源確保が大事では

問 全国的にいち早く立ち上げたが、仕事を前に進めるためには、財源が一番大事だと思いがどうか。

答 法令上、岩沼ではそういう規制になっていません

被災地区に線引きを

問 市は、被災している地区には住んで駄目だと線引きすべきでは。

答 法令上、岩沼ではそういう規制になっていません

ので、明確に住んではいけないということを書かないことを理解していただかなければなりません。

道路かさ上げ対応は

問 空港三軒茶屋線がかさ上げになることで、その東側の民家は湖の底に近い状態になる。その対応はどうなっているのか。

答 かさ上げにより、隣接する民家の人たちが道路を利用できなくなることは避けなければなりません。道路の取り付け等も十分できよう、ある程度のかさ上げという事です。



市道空港三軒茶屋線沿いの民家

計画のハードルは？

問 国際医療産業都市に向けて、どのようなハードルがあるか。

答 相当お金が掛かるので、誘致が主体となります。また、医療特区の申請をしつつあるところはかなり多く、違いを打ち出していけないと難しいと思います。

検討委員会の設置は

問 リーディングプロジェクトの実現に向けて検討していく委員会は、いつごろまでに設置するのか。

公営住宅を速やかに

問 2年後に仮設住宅は終わりというとき、住居を持ってない方のために公営住宅を速やかに造るべきではないか。

答 設置の場所や財源の問題がありますので、国、県と連携をとっていかなくてはなりません。

住環境をどう考えるか

問 仮設住宅の住環境の整備についてどう考えるか。
答 十分取り組んでいかな

答 全国的な視野で協力を頂かなければなりません。できるだけ早いうちに設けたいと考えます。

がれきに有害性は？

問 千年希望の丘に一定の処理をしたがれきを利用するとしているが、将来とも有害性の心配はないのか。

答 全日本的にいろんな研究者から意見を頂いていますし、(復興会議の委員には)地盤工学会とか専門的な学会のメンバーもおり、間違いのない対応ができると思います。

ければと思います。

県道に格上げしては

問 空港三軒茶屋線を県道へ格上げすべきではないか。
答 可能かどうかなど検討したいと思えます。

集団移転の考えは？

問 被災した6地区では、集団移転についてどう考えているのか。
答 集団移転の方向付けがなされつつあるのは、2集

落だと思えます。